

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立三瓶高等学校

評 価 実 施 日		平成 27 年 2 月 5 日 (木)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
評 価 ・ 提 言 等		提 言 等 に 対 す る 改 善 方 策 等	
<p>1 学校運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者・生徒へのアンケート結果からも、教育活動、学校運営が良好に行われていることが分かる。こうした結果を中学生、また中学生の保護者にも積極的に公開し、三高・三高生に対する理解をさらに深めていってはどうか。 ○ 学校行事に対する保護者の参加率も高く、学校と家庭との信頼関係が伺える。 <p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 確かな学力の定着と向上、個に応じた学習指導、学習意欲を高めるための工夫などを根気強く続けていきたい。 <p>3 生徒指導・安全指導・特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶の徹底について、ここまで取り組んでいる学校は、少ない。生徒同士、また、生徒と先生方のコミュニケーションがうまくとれている成果だろう。 ○ いじめ問題や差別問題の元凶となりつつある携帯電話・ネット対策はどのようになっているのだろうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校での進学説明会の時間、また中・高連携による各種行事の機会を活用し三高・三高生の良さをHPなどで積極的に公表する。 ・ PTA 総会・体育祭・文化祭等を、土日開催を継続し、保護者の協力が得られるよう努める。 ・ 生徒・保護者にとって、さらに魅力ある行事を企画・工夫し推進する。 ・ 小規模校のメリットを生かし、一人一人の生徒の個別指導を図り、さらなる学力の向上と確かな進路実現に努める。 ・ 学習時間調査の改善を行い、生徒の学習状況を把握し、学習指導に生かす。 ・ 教職員と生徒各種委員会委員による「朝のあいさつ運動」、生徒会・学校行事における生徒一人一役運動をさらに推進し、三高スピリットを育成する。 ・ 携帯電話は原則的に持ち込み禁止であり、届出制をとっているが、人間教育に重点を置き継続的に指導し 	

- 小規模校ながら部活動の加入率も高く積極的な活動ができ、地域の行事に参加している生徒の姿は素晴らしい。
- 健康・安全面での指導の状況は、どのようになっているのだろうか。

4 進路指導

- 小規模校だからこそできる取組かも知れないが、保護者面談等もきめ細かく実施されている。行ける学校から、行きたい学校へと考える生徒が増えたことは、指導の成果だと思う。
- 就業体験は、学校生活では得られない多くの学びがある。しかし、事業所開拓は、地域的にも限界がある。そこで、内容の充実さらに期待したい。

5 地域との連携について

- 町内小・中・高、また社会教育団体との連携を深める姿勢が昨年度にも増して見られた。こうした連携はさらに継続していただきたい。
- 「奥地の海のかーにばる」「宮中雲子音楽祭」をはじめ、地域行事に三高生の力は欠かせないものとなっている。今後も、是非継続していただくとともに、さらに地区行事への高校生の参加（ボランティア活動）を促していただきたい。

6 その他

- 教育活動の公開、学校からの情報発信は積極的に行われている。しかし、その情報が生徒から保護者に確実・迅速に伝わっていないという問題もあるのではないか。
- 三瓶高校の良さをアピールし、人数の確保に努めてほしい。
- やはり、分校・廃校が心配である。保護者や生徒の目線に立って、様々な活動をしてほしい

てゆきたい。

・部活動で学べることは数多くあり、部活動加入率 100 %を目指したい。

・健康面では、インフルエンザ対策で毎日の健康観察に加え、こまめな換気等を実施していく。

・交通マナーの指導だけでなく、自転車利用時のヘルメット着用を確実に実施する。

・これまで以上に、卒業生や外部講師を活用し、社会の厳しさについて理解させる。

・体験的活動の充実・拡大を図り人間関係能力をさらに育てる。

・過疎化、高齢化する地域のなかで高校生の力は地域を起す原動力として欠かせない。しかし、生徒数も減少し、これまでどおりは難しい。関係機関と一緒に貢献の在り方について協議したい。

・確認の徹底と、生徒・保護者、地域の人にも活用しやすいHPに向けて、その改善を図る。

・保護者や生徒の目線に立って、様々な活動をし、三瓶高校に入学したいと思えるよう魅力ある学校にしたい。